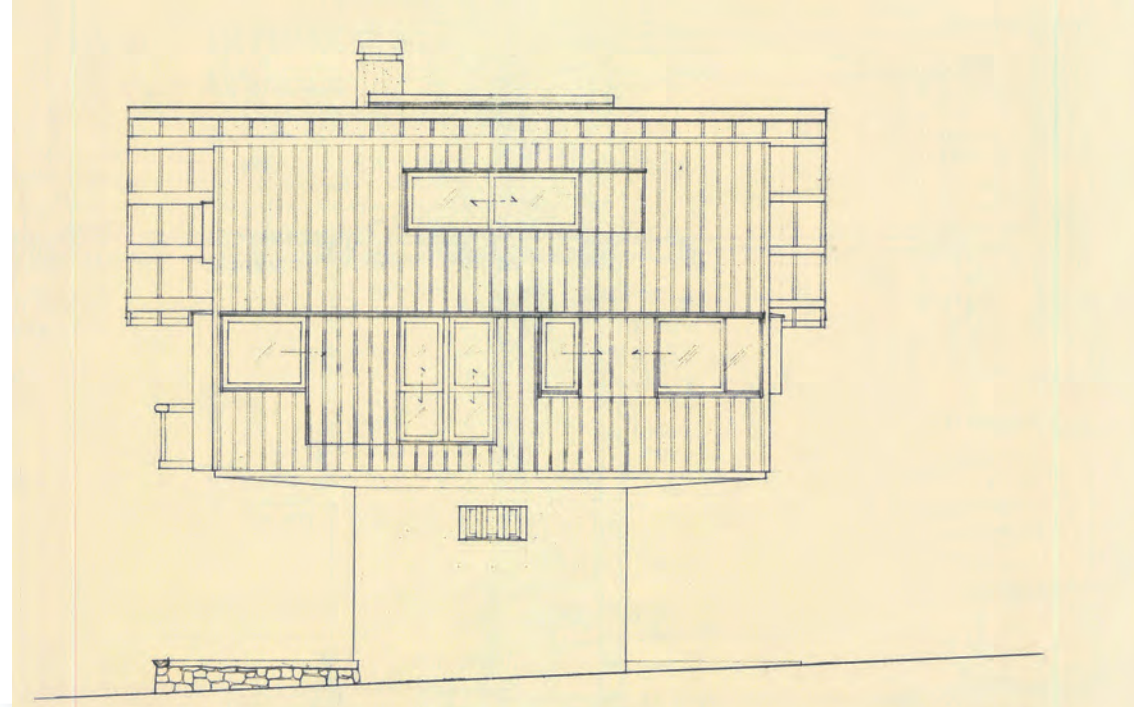
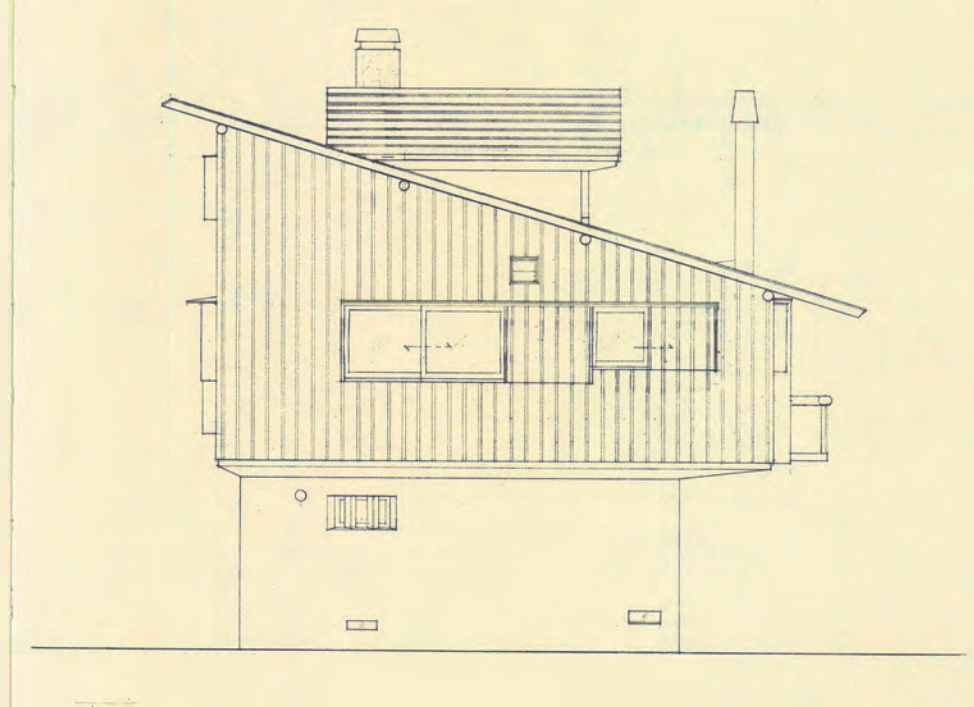


吉村順三 「森の家」

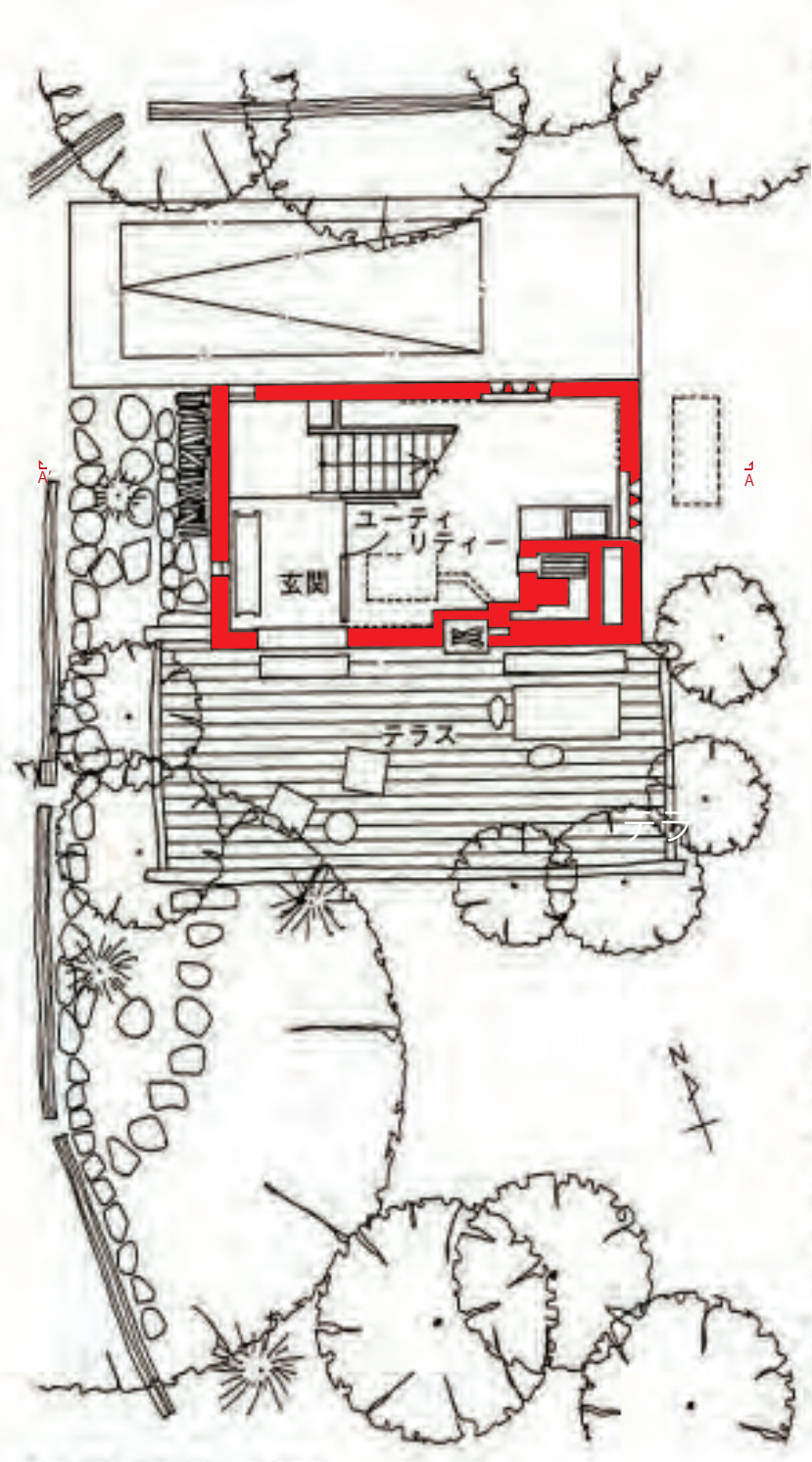
日本でモダニズム建築の一つである軽井沢の山荘。
 川沿いの林の中に位置し、湿気が高いため居間が二階にある。
 従来の日本家屋は、庭園の自然へと室内から外部の庭園に向かって連続する水平方向の自然体験感だったが、森の家は、空中にある木々を感じることで垂直方向の自然体験感を作った。
 その要因として、バルコニーを 500mmの幅に設定し、床と屋根を薄くして全体的に軽く見せる工夫が挙げられる。



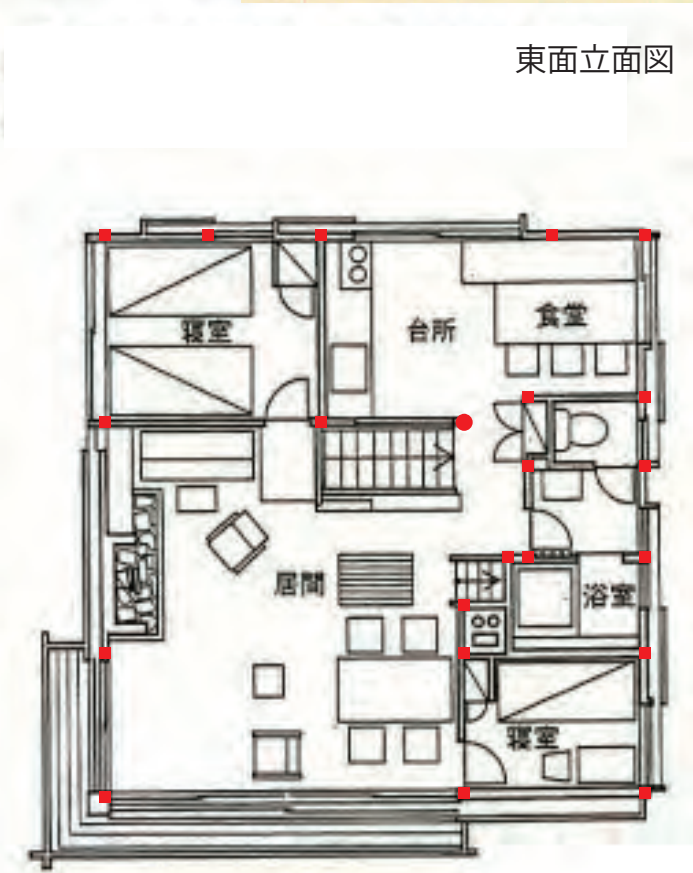
東面立面図 (1/100)



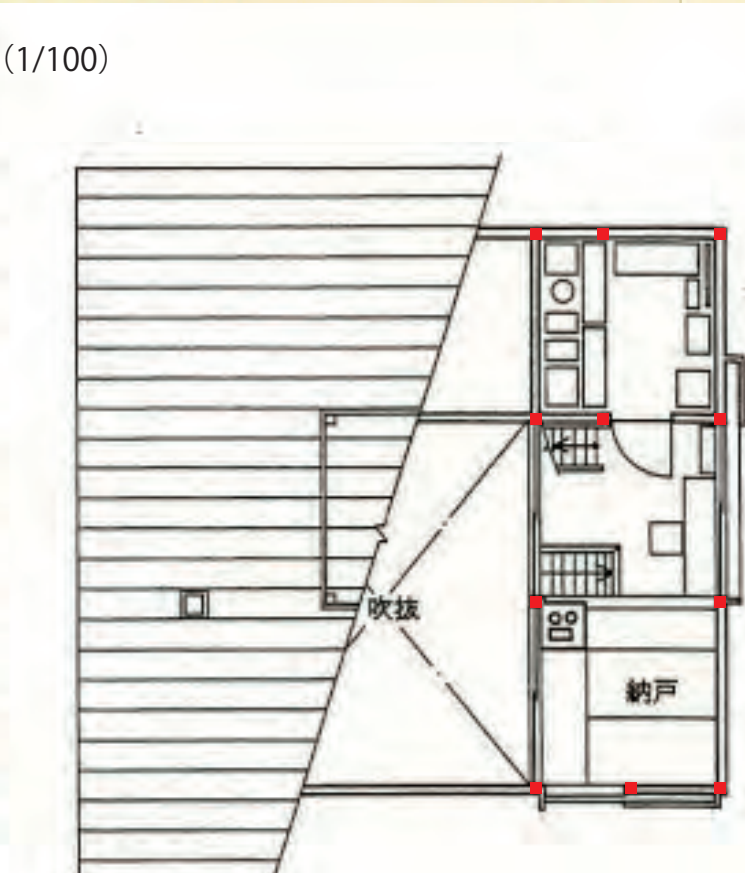
北面立面図 (1/100)



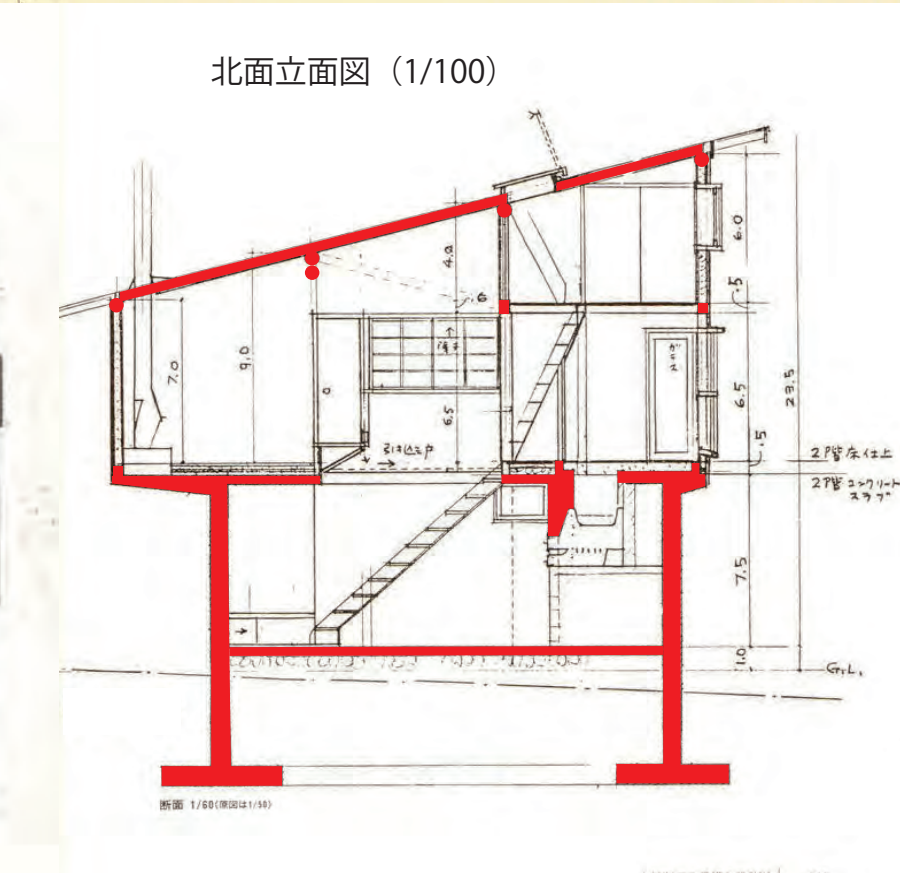
1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



屋根裏平面図 1/100



A-A' 断面図 (1/100)



2階居間



三階から見下ろす



テラス



南西方向から見る